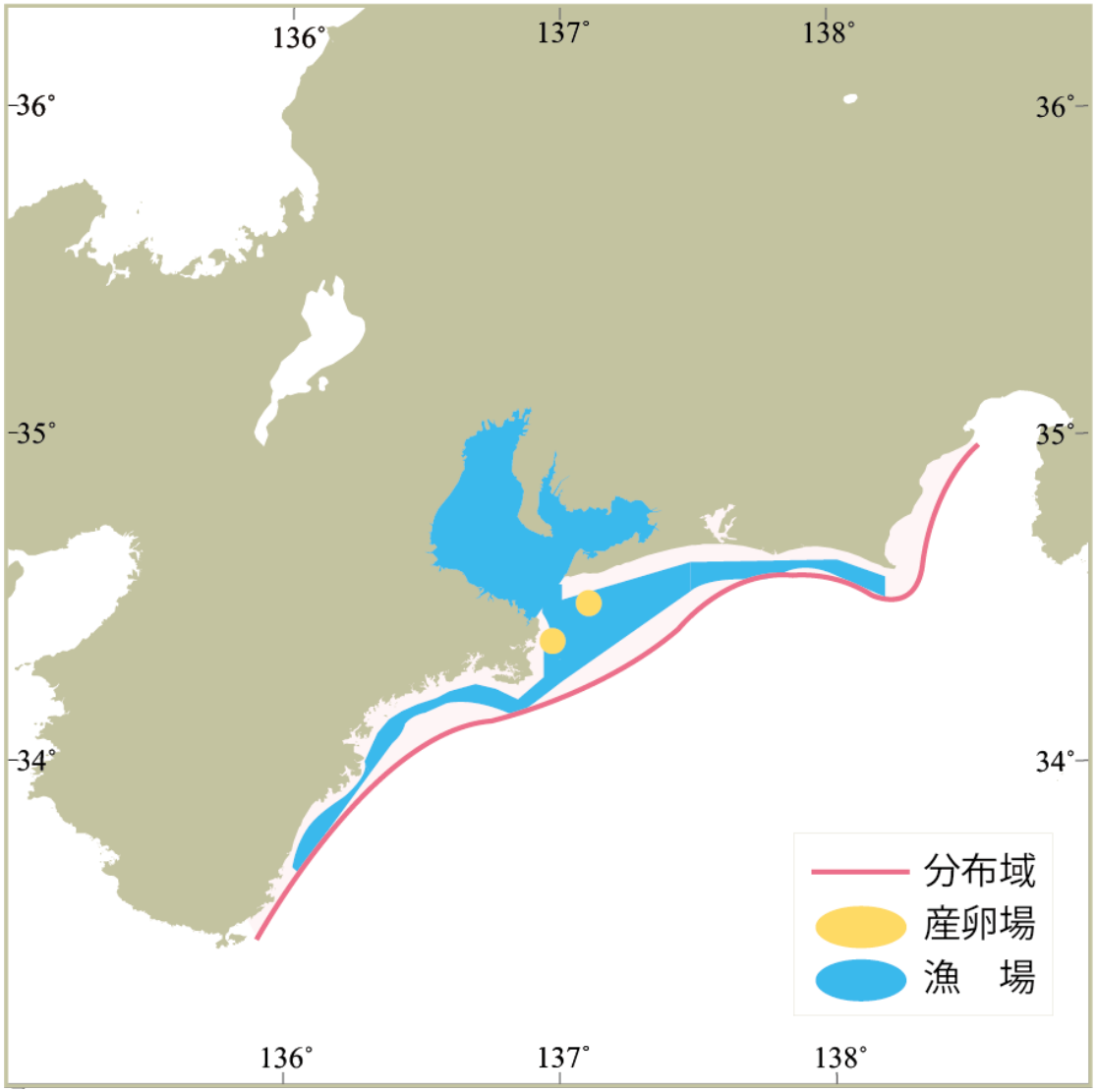
トラフグ伊勢・三河湾系群
令和４年度資源評価結果

生物学的特性

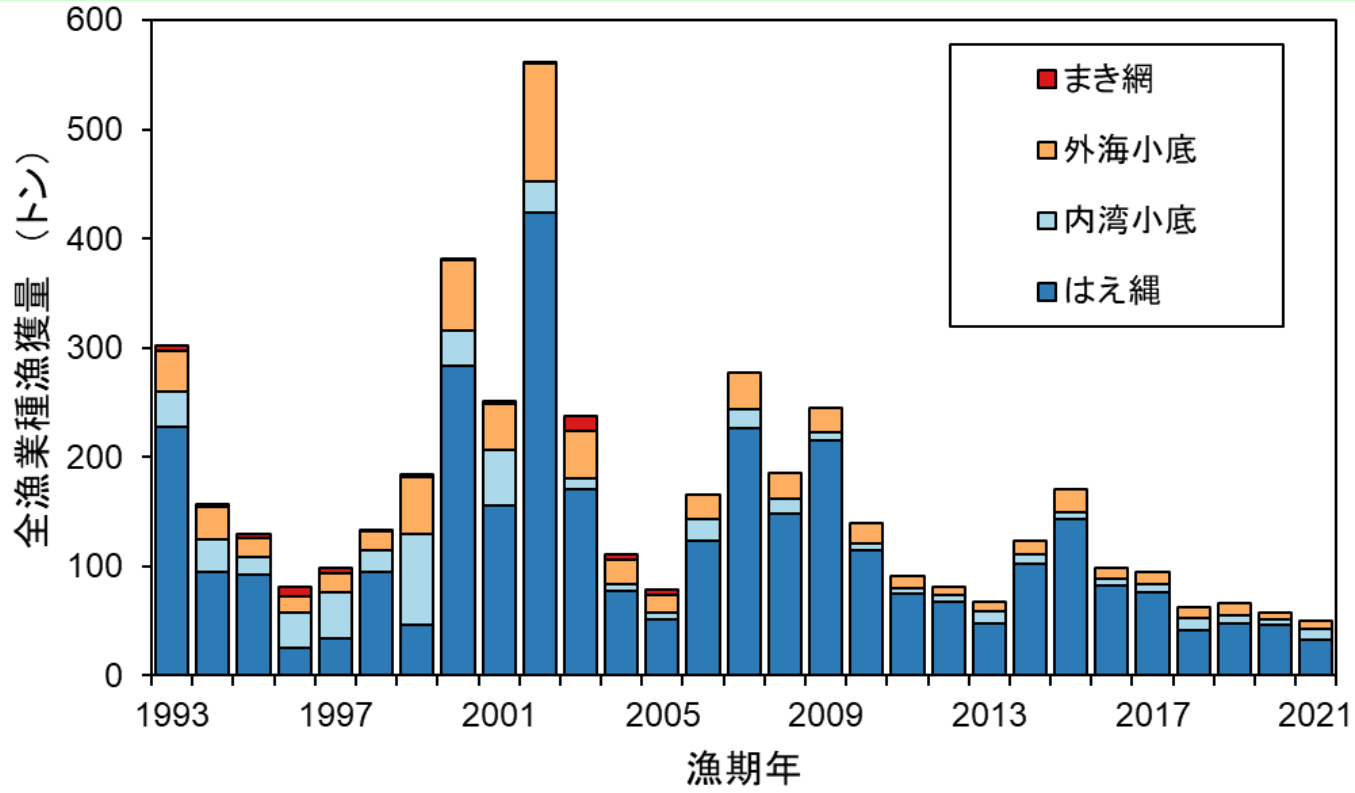


生物学的特性

- **寿命：10年以上**
- **成熟開始年齢：雄2歳、雌3歳**
- **産卵期・産卵場：4～5月、伊勢湾口**
- **食性：仔魚後期までは動物プランクトン、稚魚期は端脚類、十脚類、多毛類、昆虫類。未成魚期はイワシ類、その他の幼魚や甲殻類、成魚期は甲殻類や魚類**
- **捕食者：不明**

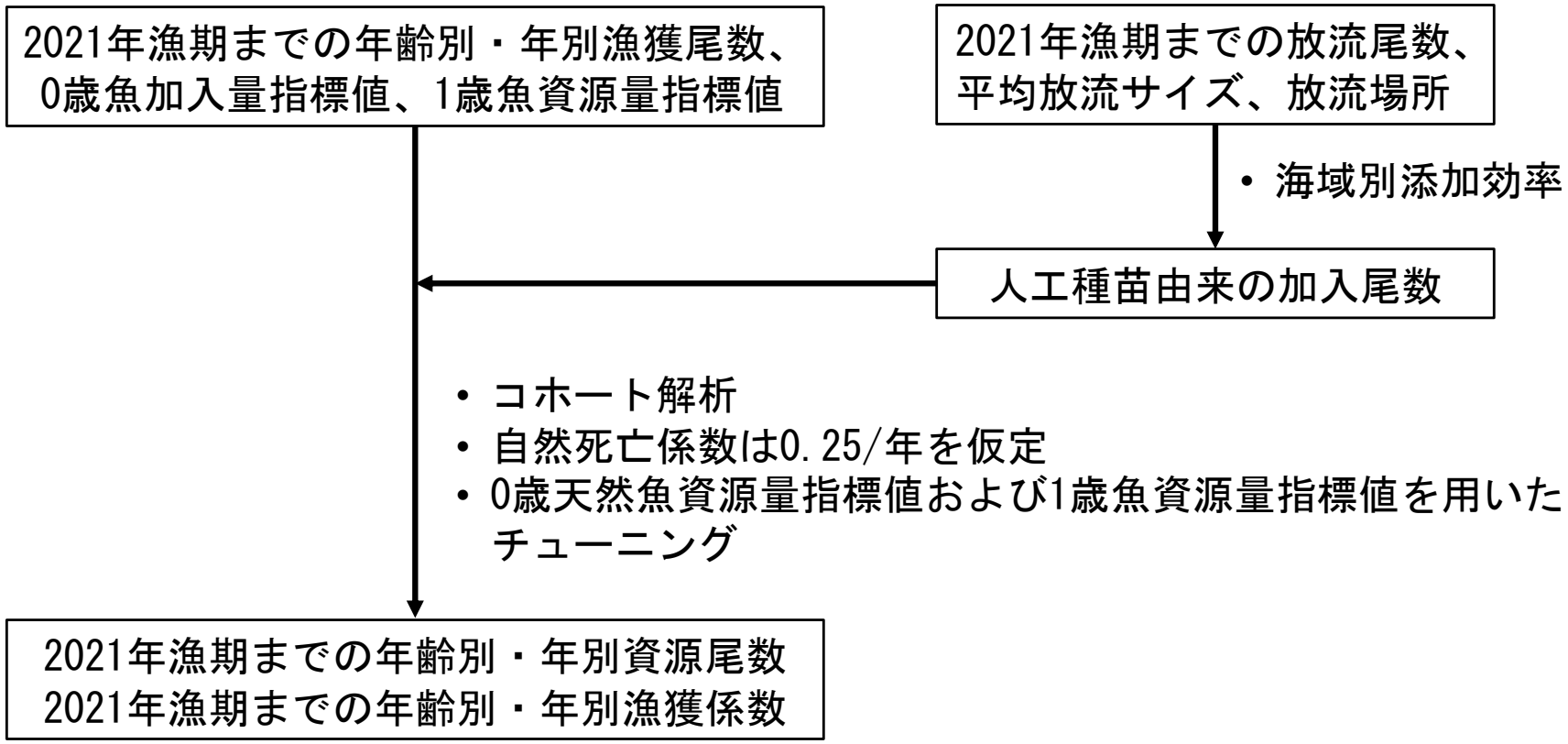
- 紀伊半島東岸から駿河湾沿岸域が主な生息海域

漁獲の動向



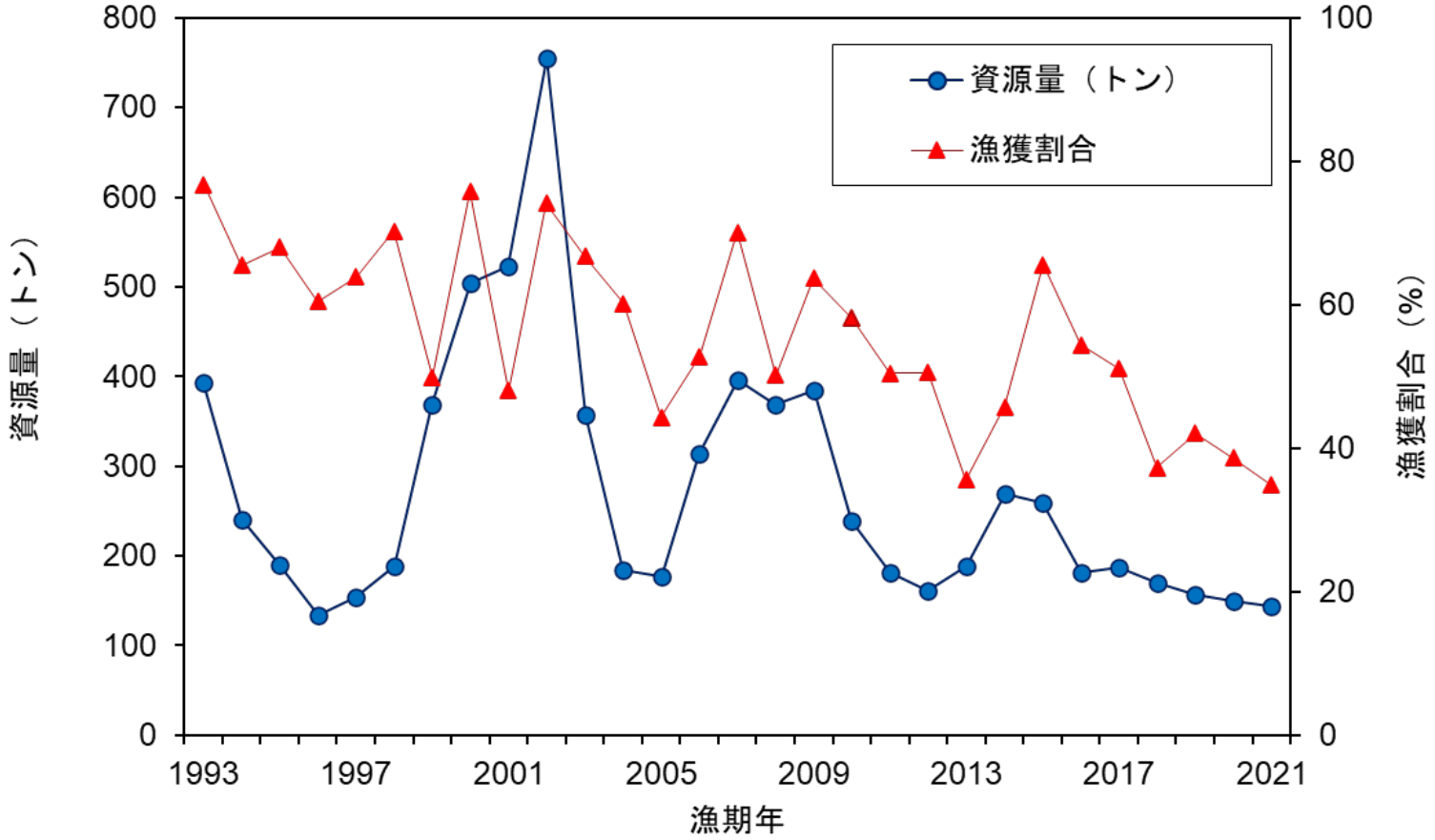
- 2021年漁期（4月～翌年3月）の漁獲量：50トン
（2020年漁期：58トン）
- 2021年漁期漁業種内訳：外海小底が15%、内湾小底が18%、はえ縄が66%、まき網による漁獲は2006年漁期以降は自主規制されている
- 2021年漁期の種苗放流尾数52万尾、混入率42%、添加効率0.035

資源評価の流れ



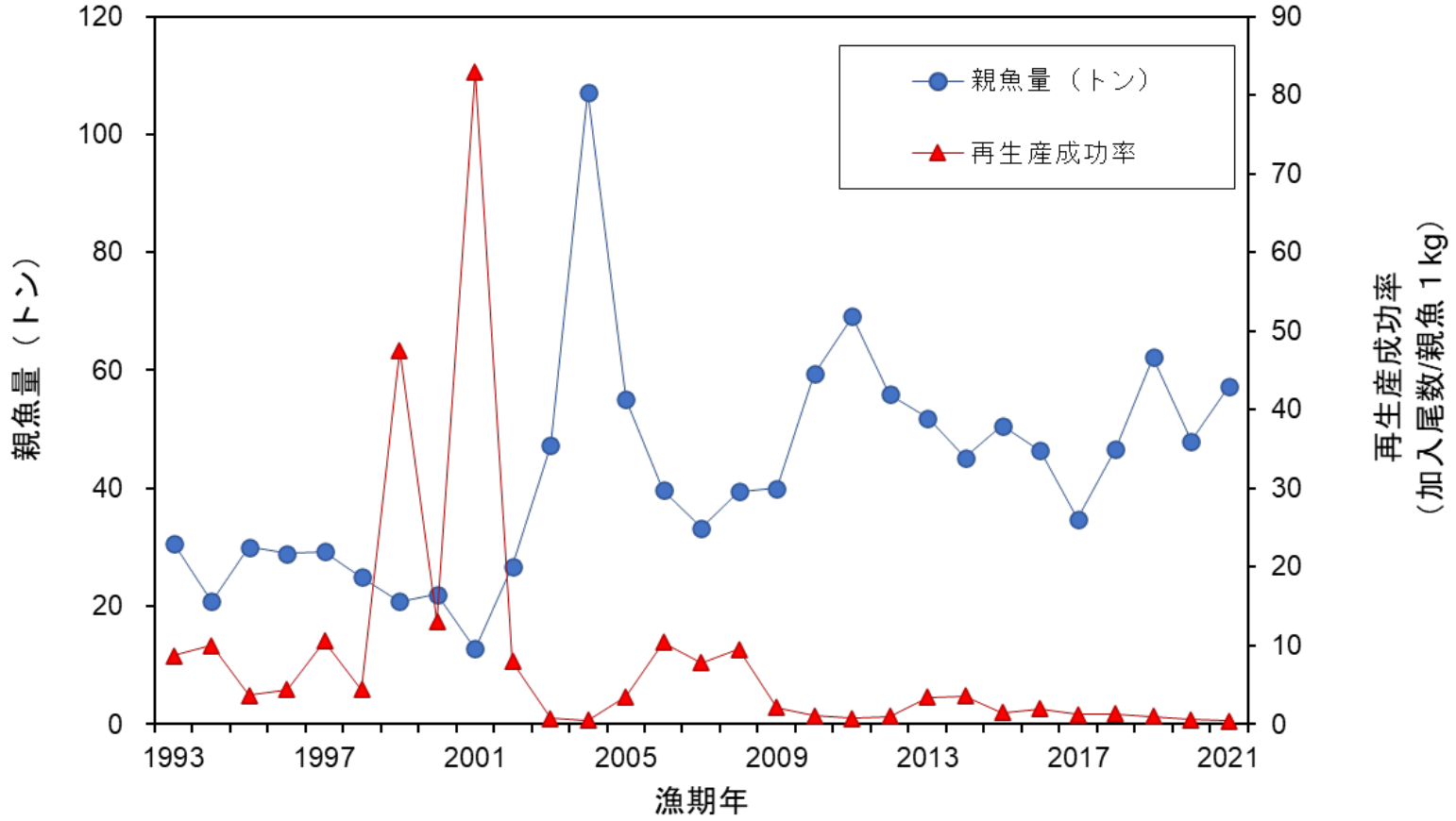
将来予測、管理に係る目標等基準値、資源の動向などについては
本年度中に開催される研究機関会議資料に記述します

資源の動向①



- 2021年漁期の資源量は144トンであり、1996年漁期の134トンに次ぐ過去2番目に低い値
- 2021年漁期の漁獲割合は35%

資源の動向②



- 親魚量：107トンを記録した2004年漁期の翌年以降は33～69トンの範囲で増減し、2021年漁期の親魚量は57トン
- 再生産成功率：2009年漁期以降は極めて低い水準で推移し、2021年漁期の再生産成功率は0.4尾/kg

資源評価のまとめ

- 資源量指標値を考慮したコホート解析により資源量を推定した
- 2021年漁期の資源量は144トンと推定され、1996年漁期の134トンに次ぐ過去2番目に低い値となった
- 親魚量は2005年漁期以降は増減しながらも60トン前後で推移し、2021年漁期の親魚量は57トンと推定された

将来予測、管理に係る目標等基準値、資源の動向などについては
本年度中に開催される研究機関会議資料に記述します